



2024年6月25日

各位

会社名 東京ボード工業株式会社  
代表者名 代表取締役社長 井上弘之  
(コード：7815 東証スタンダード)  
問合せ先 取締役経営管理本部長 尾股拓彦  
(TEL：03-3522-4138)

## 業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、2024年5月24日に公表いたしました「2024年3月期決算短信〔日本基準〕(連結)」において未定としておりました2025年3月期の業績予想を下記の通りといたしましたのでお知らせいたします。

### 記

#### 1. 2025年3月期の通期連結業績予想数値の修正(2024年4月1日～2025年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	百万円 未定	百万円 未定	百万円 未定	百万円 未定	円 銭 未定
今回修正予想(B)	8,849	93	120	455	175.89
増減額(B-A)	—	—	—	—	—
増減率(%)	—	—	—	—	—
(ご参考)前期実績 (2024年3月期)	7,135	△939	△891	△957	△369.25

(注) 今回修正予想の「1株当たり当期純利益」の算定上の基礎となる期中平均株式数については、2024年3月31日現在の発行済株式数(自己株式数を除く)を使用しております。

#### 2. 修正の理由

2025年3月期の連結業績予想につきましては、不安定な国際情勢、資源価格や原材料価格の高騰、円安による物価の上昇など不透明な経済状況により、先の見通しが困難なため、業績予想を未定としておりましたが、最近の業績動向や現時点で入手可能な情報及び予測等に基づき、上記のとおり公表いたします。

今回公表した業績予想は、資源価格や原材料価格の高騰が続き、住宅市場の回復は見込めず、新たなチップ乾燥設備が稼働するまでは平常状態に対して少量でのパーティクルボードの生産となる等、引き続き厳しい経営環境となることを想定しております。このような状況においても、部署間・グループ間の連携の強化、製造工程管理の見直し、人材育成等の各

取組みが結実し、収益力が強化されていることが確認できたことから、前期と比較して売上高、利益ともに改善し、8期ぶりに通期で黒字化する見通しとなっております。

(注) 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社としてお約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

以 上